

## 西予支部

### 1 研究主題

情報活用能力の育成と教科等のICT活用を目指す学習指導の研究と実践

- (1) 高度情報通信社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成
- (2) 情報手段を利用した学習指導の改善
- (3) ICT活用指導力の向上

### 2 研修内容

- (1) 日時 平成22年7月27日（火）9:10～12:00
- (2) 場所 西予市立野村中学校 コンピュータ室
- (3) 内容

#### ア 実技研修「CMSを活用したWebページの作成」

講師 白石 弘先生（愛媛県総合教育センター）

講師 小山 清先生（愛媛県総合教育センター）

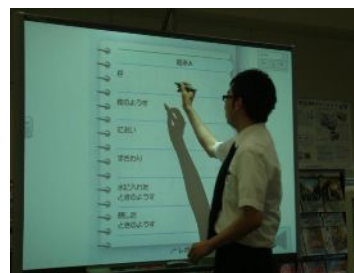
昨年度に引き続き、CMSを活用したWebページ作りの研修を行った。CMSを活用するメリットについて聞いた後、実際にWebページを作る練習をした。最初に写真を取り込んで、それについてブログ形式で文を書くという初歩的な内容であった。また、使用する写真の容量を少なくする加工法についても学んだ。次に、いろいろな文書をWebページに載せるためには、どのような作業が必要かということを図を使ってくわしく指導していただいた。



#### イ 講義「授業における電子黒板の活用について」

講師 国広 達也氏（西予市情報教育アシスタント）

今年度、市内小・中学校に電子黒板が導入された。しかし、現段階では、電子黒板にどのような機能があり、どのように活用すれば、授業が効果的に行われるか分かりにくい状況である。そこで、講師から、授業のいろいろな場面に、どのようにして電子黒板を利用できるか、具体的な例を示していただいた。PowerPoint、マクロメディアフラッシュなどを利用したコンテンツが興味深かった。また、書画カメラやビデオとの連携など、電子黒板の有用性を知ることができた。



### 3 研究の成果

「開かれた学校」を実現するための、各校のWebページによる情報発信の役割は、今後ますます大きくなると思われる。一人でも多くの教職員がCMSについて理解し、Webページを運用する技能を身に付ける必要がある。その意味から、教育センターから講師を招き、たくさんの教職員がWebページ作成の実技研修ができたことはよかったと思う。今後、西予市すべての学校において特色あるWebページを作っていきたい。

電子黒板は新しい情報教育機器であるため、使用方法がよく分かっていない。そこで、講師から具体的な使用方法を数多く提案していただいたことにより、日常の授業で活用しようという意欲がわいてきたと思う。

### 4 今後の課題

今後、教室に黒板と電子黒板が共存できるように、双方のバランスの取れた活用が望まれる。そのためには、電子黒板のメリットを生かせるような活用法の開発をしなければいけない。また、対応するソフトを利用したコンテンツ作成のための研修やデジタル教科書の導入に対応するための幅広い情報教育の研修が必要であると考えている。